2024年２月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月13日

上場会社名　ＲＰＡホールディングス株式会社　上場取引所　東
コード番号　6572　ＵＲＬ　https://rpa-holdings.com/
代表者　（役職名）代表取締役　（氏名）高橋 知道
問合せ先責任者　（役職名）取締役　（氏名）松井 哲史　ＴＥＬ　03（5157）6388
四半期報告書提出予定日　2023年10月13日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2024年２月期第２四半期の連結業績（2023年３月１日～2023年８月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年２月期第２四半期	2,913	0.5	190	341.3	49	－	304	－
2023年２月期第２四半期	2,899	0.3	43	△84.5	△8	－	△93	－

（注）包括利益　2024年２月期第２四半期　296百万円（－%）　2023年２月期第２四半期　△76百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年２月期第２四半期	5.02	4.89
2023年２月期第２四半期	△1.54	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年２月期第２四半期	18,265	11,842	64.7
2023年２月期	18,467	11,514	62.2

（参考）自己資本　2024年２月期第２四半期　11,816百万円　2023年２月期　11,492百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年２月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2024年２月期	－	0.00			
2024年２月期（予想）			－	－	－

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
２．当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

３．2024年２月期の連結業績予想（2023年３月１日～2024年２月29日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	10.8	500	63.5	430	433.5	320	396.0	5.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料Ｐ．８「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年２月期２Ｑ	62,040,000株	2023年２月期	61,995,000株
②　期末自己株式数	2024年２月期２Ｑ	1,414,788株	2023年２月期	1,428,405株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2024年２月期２Ｑ	60,610,172株	2023年２月期２Ｑ	60,708,976株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 5
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書 6
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和により、経済活動に持ち直しが見られましたが、原油をはじめとした原材料価格の高騰やロシア・ウクライナ情勢の長期化により、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループは「BizRobo!」、「RoboRobo」、「Presco（プレスコ）」ともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。また、引き続き「RoboRobo」のプロダクト開発を中心とした先行投資を行いました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は2,913百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益は190百万円（前年同四半期比341.3%増）、経常利益は49百万円（前年同四半期は8百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は304百万円（前年同四半期は93百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間の期首から、報告セグメントの区分を以下のとおり変更しております。

前連結会計年度までの報告セグメントは、データ入力等の定型作業をロボット等の技術を用いて代行するプラットフォーム『BizRobo!』を展開する「ロボットアウトソーシング事業」、成果報酬型広告（アフィリエイト広告）の分野を中心に、広告主とメディアを繋ぐエージェンシーをロボット等の技術により代替するサービス『Presco』を展開する「ロボットトランスフォーメーション事業」、法務・総務等のバックオフィス業務の自動化で生産性向上を実現するクラウドサービス『RoboRobo』を展開する「RaaS事業」の３セグメントとしておりました。

「ロボットアウトソーシング事業」と「RaaS事業」は、アウトソーシングサービスという点で共通しており、販売面、技術面等の連携によりシナジーの発現が見込めることから、第1四半期連結会計期間より、「RaaS事業」を「ロボットアウトソーシング事業」に統合し、報告セグメントを「ロボットアウトソーシング事業」と「ロボットトランスフォーメーション事業」の２セグメントに再編成することといたしました。

以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

<u>ロボットアウトソーシング事業</u>

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!」、「RoboRobo」ともに導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。また、コストコントロールの強化により利益率も改善しました。一方で引き続き「RoboRobo」のプロダクト開発を中心とした先行投資を行いました。

その結果、売上高は1,966百万円（前年同四半期比3.5%増）、セグメント利益（営業利益）は90百万円（前年同四半期比57.8%増）となりました。

<u>ロボットトランスフォーメーション事業</u>

ロボットトランスフォーメーション事業においては、人材カテゴリ、及び新規参入分野の取扱高が伸長しました。また、取扱シェアを高めたプログラムでは手数料率も一部改善したことと、コストコントロールの強化により利益率も改善しました。

その結果、ロボットトランスフォーメーション事業では、売上高は807百万円（前年同四半期比0.2%減）、セグメント利益（営業利益）は244百万円（前年同四半期比48.6%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は13,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ319百万円減少いたしました。これは主に売掛金が539百万円減少した一方で　、現金及び預金が128百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,507百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が150百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は18,265百万円となり、前連結会計年度末に比べ201百万円減少いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は5,173百万円となり、前連結会計年度末に比べ190百万円減少いたしました。これは主に買掛金が414百万円減少した一方で、その他の流動負債が188百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,249百万円となり、前連結会計年度末に比べ338百万円減少いたしました。これは社債が212百万円、長期借入金が126百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,423百万円となり、前連結会計年度末に比べ529百万円減少いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は11,842百万円となり、前連結会計年度末に比べ327百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を304百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.7％（前連結会計年度末は62.2％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月期第１四半期連結会計期間において、事業譲渡益76百万円、投資有価証券売却益200百万円及び関係会社売却益34百万円を計上したこと、並びに、本日（2023年10月13日）公表の「信託型ストックオプションへの対応と関連損失（特別損失）の計上に関するお知らせ」のとおり、第３四半期連結会計期間において、特別損失に信託型ストックオプション関連損失55百万円を計上する見込です。

その結果、当期純利益は計画を上回る見通しとなりましたので、当期の連結業績予想の数値を修正いたします。

詳細については、本日（2023年10月13日）公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年２月28日)	当第２四半期連結会計期間 (2023年８月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,213,927	11,342,895
売掛金	2,443,758	1,904,265
仕掛品	13,720	10,031
その他	406,889	501,319
流動資産合計	14,078,295	13,758,511
固定資産		
有形固定資産	108,418	96,556
無形固定資産		
のれん	363,222	267,380
ソフトウエア	487,415	602,350
ソフトウエア仮勘定	145,803	106,327
その他	72	72
無形固定資産合計	996,514	976,130
投資その他の資産		
投資有価証券	2,886,933	3,030,363
その他	397,406	404,223
投資その他の資産合計	3,284,340	3,434,586
固定資産合計	4,389,273	4,507,274
資産合計	18,467,569	18,265,785
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,885,011	1,470,037
短期借入金	1,500,000	1,500,000
１年内償還予定の社債	424,000	424,000
１年内返済予定の長期借入金	279,296	262,696
未払法人税等	154,083	198,200
賞与引当金	89,700	98,426
その他	1,031,690	1,219,991
流動負債合計	5,363,781	5,173,351
固定負債		
社債	1,128,000	916,000
長期借入金	460,847	333,849
固定負債合計	1,588,847	1,249,849
負債合計	6,952,628	6,423,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,902,391	5,908,768
資本剰余金	6,038,918	6,045,580
利益剰余金	31,870	350,211
自己株式	△499,650	△494,897
株主資本合計	11,473,530	11,809,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,816	6,516
その他の包括利益累計額合計	18,816	6,516
新株予約権	5,263	5,110
非支配株主持分	17,330	21,294
純資産合計	11,514,940	11,842,584
負債純資産合計	18,467,569	18,265,785

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2022年３月１日 至　2022年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2023年３月１日 至　2023年８月31日）
売上高	2,899,705	2,913,214
売上原価	1,119,425	1,026,514
売上総利益	1,780,279	1,886,700
販売費及び一般管理費	1,737,155	1,696,398
営業利益	43,124	190,301
営業外収益		
受取利息	52	47
為替差益	1,440	949
その他	909	1,806
営業外収益合計	2,401	2,803
営業外費用		
支払利息	11,617	8,408
支払手数料	1,010	3,412
投資事業組合運用損	8,620	38,976
持分法による投資損失	26,674	90,248
その他	5,702	2,645
営業外費用合計	53,626	143,692
経常利益又は経常損失（△）	△8,100	49,411
特別利益		
事業譲渡益	－	76,000
投資有価証券売却益	－	200,252
関係会社株式売却益	－	34,000
特別利益合計	－	310,252
特別損失		
投資有価証券評価損	－	9,980
特別損失合計	－	9,980
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△8,100	349,684
法人税等	85,210	41,379
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△93,310	308,305
非支配株主に帰属する四半期純利益	267	3,964
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△93,578	304,340

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2022年３月１日 至　2022年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2023年３月１日 至　2023年８月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△93,310	308,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,536	△12,299
その他の包括利益合計	16,536	△12,299
四半期包括利益	△76,774	296,006
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△77,042	292,041
非支配株主に係る四半期包括利益	267	3,964

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2022年３月１日 至　2022年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2023年３月１日 至　2023年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△8,100	349,684
減価償却費	196,031	137,324
のれん償却額	97,531	95,841
事業譲渡損益（△は益）	－	△76,000
関係会社株式売却損益（△は益）	－	△34,000
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△200,252
投資有価証券評価損益（△は益）	－	9,980
賞与引当金の増減額（△は減少）	△6,956	8,725
受取利息	△52	△47
支払利息	11,617	8,408
為替差損益（△は益）	△1,440	△949
持分法による投資損益（△は益）	26,674	90,248
投資事業組合運用損益（△は益）	8,620	38,976
売上債権の増減額（△は増加）	△74,424	539,493
棚卸資産の増減額（△は増加）	△7,031	3,689
仕入債務の増減額（△は減少）	25,929	△404,225
未払金の増減額（△は減少）	727	△48,260
その他	98,369	234,994
小計	367,497	753,632
利息の受取額	52	47
利息の支払額	△10,746	△6,589
法人税等の支払額	△185,388	△211,055
法人税等の還付額	135,285	101,181
営業活動によるキャッシュ・フロー	306,700	637,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,734	－
無形固定資産の取得による支出	△157,887	△211,668
投資有価証券の取得による支出	△383,133	△298,400
投資有価証券の売却による収入	－	216,468
関係会社株式の売却による収入	－	34,000
事業譲渡による収入	－	76,000
投資事業組合からの分配による収入	3,890	7,000
敷金の差入による支出	△263	△3,164
敷金の回収による収入	776	13,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	△547,351	△166,359
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△143,598	△143,598
社債の償還による支出	△162,000	△212,000
株式の発行による収入	－	12,600
自己株式の取得による支出	△183,936	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△489,534	△342,998
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,691	1,108
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△727,494	128,967
現金及び現金同等物の期首残高	13,101,523	11,213,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,374,029	11,342,895

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　2022年３月１日　至　2022年８月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ロボットアウトソーシング事業	ロボットトランスフォーメーション事業	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	350,972	808,606	1,159,578	190,312	－	1,349,891
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,549,814	－	1,549,814	－	－	1,549,814
顧客との契約から生じる収益	1,900,787	808,606	2,709,393	190,312	－	2,899,705
外部顧客への売上高	1,900,787	808,606	2,709,393	190,312	－	2,899,705
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,520	7,041	19,561	14,977	△34,538	－
計	1,913,307	815,647	2,728,954	205,289	△34,538	2,899,705
セグメント利益	57,336	164,679	222,015	132	△179,024	43,124

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△179,024千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

当第２四半期連結累計期間（自　2023年３月１日　至　2023年８月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ロボットアウトソーシング事業	ロボットトランスフォーメーション事業	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	343,003	807,154	1,150,157	139,196	－	1,289,353
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,623,860	－	1,623,860	－	－	1,623,860
顧客との契約から生じる収益	1,966,863	807,154	2,774,017	139,196	－	2,913,214
外部顧客への売上高	1,966,863	807,154	2,774,017	139,196	－	2,913,214
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,150	24,956	34,106	1,800	△35,906	－
計	1,976,013	832,111	2,808,124	140,996	△35,906	2,913,214
セグメント利益	90,498	244,658	335,156	3,532	△148,387	190,301

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△148,387千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

２．報告セグメントの変更等に関する情報

当社グループの報告セグメントは、従来「ロボットアウトソーシング事業」、「ロボットトランスフォーメーション事業」と「RaaS事業」の３セグメントとしておりましたが、第１四半期連結会計期間より、「RaaS事業」を「ロボットアウトソーシング事業」に統合し、報告セグメントを「ロボットアウトソーシング事業」と「ロボットトランスフォーメーション事業」の２セグメントとすることに変更いたしました。

「ロボットアウトソーシング事業」と「RaaS事業」は、アウトソーシングサービスという点で共通しており、販売面、技術面等の連携によりシナジーの発現が見込めることから、両事業を統合して一体管理することが、当社グループの事業展開、経営資源の配分、経営管理体制等の実態を踏まえて、当社の状況を適切に把握できると判断したためであります。

なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。